

指定管理者の管理運営に関する評価シート

(評価対象期間：令和7年4月～令和9年3月)

施設名	菖蒲運動公園	
施設所管課	スポーツ振興課	
指定管理者(団体名)	毎日・首都圏共同事業体	
指定期間	令和7年4月1日～令和9年3月31日	

1 事業運営、利用状況

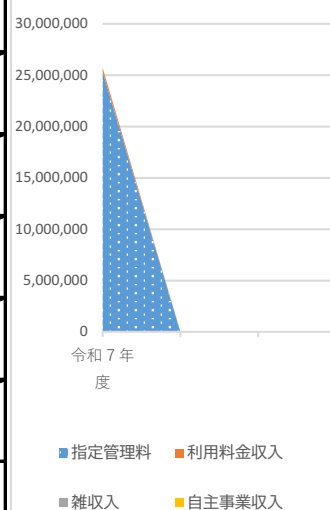
事業計画に掲げた 主な事業の実施状況	☒ 事業計画に掲げた事業は全て実施した（最終年度を除く）				
	☐ 事業計画に掲げた事業のうち、一部が実施できなかった（最終年度を除く）				
	理由				
施設の利用状況		令和7年度			
	開館日数（日）	359			
	利用者数（人）	16,475			
補足説明	本施設の休園日は年末年始の6日間				
施設所管課の評価	新たな自主事業の実施や施設周辺にのぼりを設置するなど、施設の利用者増に向けた様々な取り組みを行っている。 その結果、指定管理導入前と比較し、大幅に利用者を増加させている（令和6年度利用者数6,942人）。				

2 収支状況

(1) 収入状況(指定期間最終年度を除く)

単位：円

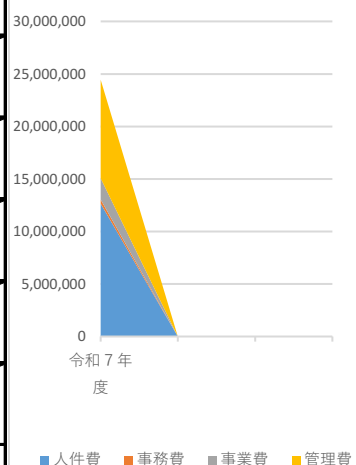
項目	令和7年度			
指定管理料	25,313,000			
利用料金収入	380,985			
自主事業収入	73,000			
雑収入	2,666			
収入合計	25,769,651			
補足説明				



(2) 支出状況(指定期間最終年度を除く)

単位：円

項目	令和7年度			
人件費	12,650,321			
事務費	391,844			
事業費	2,027,823			
管理費	9,377,990			
支出合計	24,447,978			
補足説明				



収支差額	1,321,673			
施設所管課の評価	・利用者の増加を図るために自主事業の実施を進めている。 ・施設の貸出について様々な周知を行うなど、利用者の増加に努めている。			

3 管理運営	
施設の運営業務（維持管理業務）に関する評価	施設維持管理計画に基づいて計画的かつ着実に業務を遂行したことにより、維持管理業務の不備による怪我や事故は発生せず、安全、安心な施設運営が実施することができた。また、利用者数の増加及び会議室利用の拡大にも寄与した。
指定管理者の提案による新規取組とその実施状況	企画提案内容
	1. 市が実施していたサービス等の継続（管理棟内のフリーWi-Fiの継続、夏季屋外ミスト、緑のカーテン、遊具の貸出、遊具・ベンチ下の防草シート設置） 2. 様々な利用者への配慮（老眼鏡の設置、筆談ボードの設置、男性用トイレにサンタリーボックスの設置） 3. 敷地内掲示板による情報発信 4. 利用者アンケートによるニーズの把握 5. 敷地内のサイン表示 6. 利用者への配慮（日陰の確保、グラウンドの砂に飛散防止の散水） 7. 利便性向上策の実施（多目的トイレに補助便座設置、自転車スタンドの設置検討） 8. キッチンカーの導入検討 9. 自動草刈り機の導入
	企画提案内容の実施内容
	1. 市が実施していたサービスは、屋外のミストを除き引き続き実施している。 2. 様々な利用者への配慮として、老眼鏡の設置や筆談ボードを設置した。 3. 敷地内の掲示板において、施設を利用するチーム等の情報を掲示し市民活動の活発化に繋がる情報発信を行った。 4. 利用者アンケートを実施し貸出遊具の内容などを変更した。 5. 敷地内の表示を誰が見ても分かるように更新した。 8. 大会時等にキッチンカーの導入済 9. 自動草刈り機の導入済
	☒ 企画提案内容が予定通り実施された（最終年度での実施見込みも含む）
	☐ 随意指定のため企画提案はない ☐ 企画提案内容が予定通り実施されていない
	理由 未実施の提案内容については最終年度に実施する予定です。また、実施済みの提案内容についても継続して取り組むとともに、利用者の声に耳を傾け、さらなるブラッシュアップを図ってまいります。
指定管理者の提案による新規取組とその実施状況に関する評価	・各種提案内容について、順調に進め利用者の増加や満足度向上を図っている。 ・砂の飛散防止について、散水よりも効果が高い塩化カルシウムの散布など、より良い取り組みも行っている。 ・キッチンカーの導入など、利用者の利便性向上を行っている。
利用者満足度向上への取組に関する評価	・管理棟出入口に防犯カメラを設置し、防犯体制の強化と利用者の安心感向上を図っている。 ・貸会議室の周知のため「のぼり旗」を設置し、多目的室（1、2）の利用促進（講習会、会議、集会等の増加）に繋げている。 ・指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として、熱中症警戒アラートの有無に関わらず管理棟ホールを無料開放し、来園者の安全確保と利便性向上を図っている。 ・砂の飛散防止対策として、メイングラウンド及び多目的グラウンドに塩化カルシウムを散布し、周辺環境への配慮を行っている。

4 その他	
情報提供・広報活動、個人情報保護、危機管理状況に関する評価	【情報提供・広報活動】 HP、Instagram、園内掲示、広報紙への広告掲載など、多様な媒体を効果的に活用するとともに、スタッフによる丁寧な声掛けを実施し、利用者への周知強化と利用促進を進めている。 【個人情報保護】 JIS Q 15001（個人情報保護マネジメントシステム）の要求事項に適合したプライバシーマークを取得し、同制度に基づく適正な情報管理を行っている。また、全職員を対象に個人情報保護に関する研修を実施している。 【危機管理】 防災対応マニュアルを整備し、全職員への周知徹底を図っている。あわせて、普通救命講習（心肺蘇生、AED等）を実施し、緊急時対応力の向上に努めている。

5 総合評価

これまでの施設所管課の一次評価

評価年度	令和7年度			
総合評価	B			

施設所管課の 一次評価	A□	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B■	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C□	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D□	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

施設所管課の判断理由

施設の貸出しを適切に行いながら、新しく自主事業を始め利用者の拡大に努めている。施設利用者を増やすためにのぼり等を設置するなど、創意工夫を行いながら利用者の増加を図っている。
毎月のミーティングや研修等を通じて資質の向上を図り、安全な施設の管理運営に努めている。また、個人情報研修や普通救命講習を実施し、危機管理に対する意識も高めている。
これらのことから、全般的に施設の目的に沿って適正に管理運営されており、B評価とした。

これまでの公の施設管理運営検討委員会の二次評価

評価年度	令和7年度			
総合評価				

公の施設管理運営 検討委員会の 二次評価	A□	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B■	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C□	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D□	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

公の施設管理運営検討委員会の意見

- ・施設利用者数は、令和6年度（指定管理者導入前）と比べて大幅に増加している。
- ・ミーティングや研修等を通じて資質の向上を図り、安全な施設の管理運営に努めている。
- ・指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として、アラートの有無に関わらず管理棟ホールを無料開放し、来園者の安全確保と利便性向上に努めるなど、行政の施策履行にも積極的に協力する姿勢が見られる。